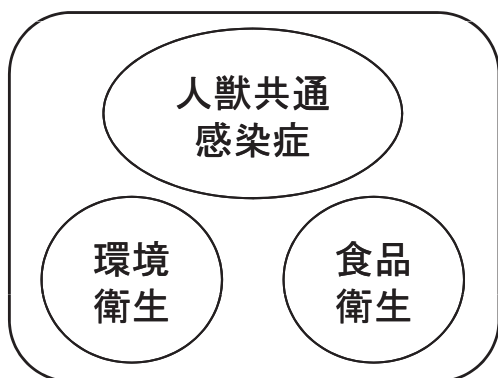


共同獣医学科 環境衛生学研究室

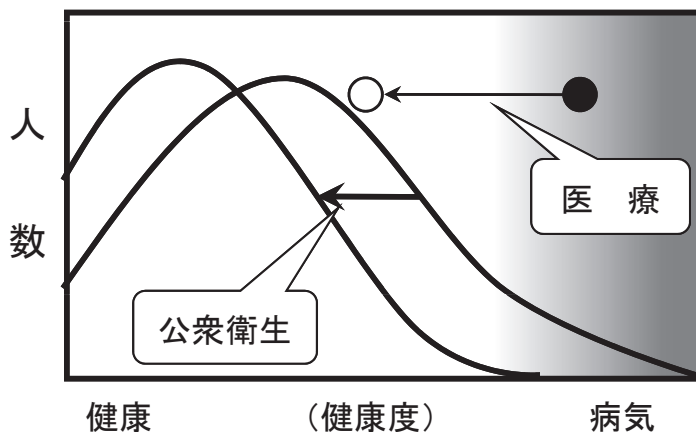
環境衛生学ってなんだ？

環境衛生学は公衆衛生学の一分野で、水や空気、身の回りの生活環境や野生動物を含む自然環境など、人を取り巻く様々な「環境」を良好に保持あるいは改善する事により、『人間集団』における疾病の発生を予防するとともに、身体的・精神的・社会的状態を良好に保持・増進することを目的としています。

獣医公衆衛生学の3分野



公衆衛生学のイメージ



獣医学と環境衛生

獣医療の対象は動物ですが、獣医学で学んだ幅広い知識と専門的スキルは人間集団の健康の保持増進に役立てることができます。多くの獣医師が、保健所、検疫所、食肉衛生検査所、衛生研究所等で、食の安全の確保や環境の保全など、「人」の健康を守るために働いています。

どんな研究をしているの？

主に物理化学的有害因子（環境汚染物質、放射線など）を対象として、健康影響の解明と評価、その制御などに関する研究を行っています。最近の研究成果は・・・

- ・牛の可食部における放射性セシウムの分布 (J. Anim. Sci. 2013)
- ・家庭用浄水器の放射性物質除去効果 (J. Toxicol. Sci. 2011)
- ・活性酸素を放出する空気清浄機は肺のDNA損傷を引き起こす (J. Toxicol. Sci. 2010)
- ・岩手県内のツキノワグマにおける重金属濃度とその地域差 (日獣会誌, 2010)

(環境衛生学研究室：佐藤 至)